

令和4年9月1日

## やる気に満ちた笑顔に期待

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

転入生1名を加え、全児童12名での2学期のスタートです。久しぶりに子供たちの明るく元気な笑顔が学校に戻ってきました。今年もコロナ禍の影響で例年とは異なる夏休みとなりました。それでも様々な思い出をつくり、一回り大きくなった姿に逞しさを覚えました。

2学期は学校教育が最も充実する学期です。感染症、熱中症対策等については、考えられる全ての実行可能な方策を職員と共に確実に行っていきます。また、日々の教育活動や運動会、学習発表会等の学校行事につきましても、創意工夫を加えながら実施していきます。それらを通して、子供たち一人一人が「知・徳・体」をバランスよく、そして、自己肯定感を高め、自己の成長を実感できる学期にしてほしいと思います。

子供たちと職員のやる気に満ちた表情がとても印象的な始業式となりました。「まだ先の話ですが、2学期終業式の日、日々がんばった自分に感謝できるといいですね。」と、子供たちに一言添えておきました。

令和4年9月8日

## 感染症，熱中症対策の難しさと今後への期待

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

9月に運動会や体育大会を控えている学校では，新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策に苦慮しながら，練習を続けておられることと思います。本校も例外ではなく，職員が日々の練習の中で改善点を探る試行錯誤の日々です。対策の原則は大切にしながらも，個別具体といった対応も忘れずに行っています。考えられるだけの全ての対策を確実に実行していきたいと思っています。

周知のとおり人類の歴史は，感染症との闘いの歴史でもあります。細菌やウイルスといった目に見えない微生物との闘いは，終わることなく日々研究が進められていると思われます。

繰り返し耳にする感染症対策や医療現場の状況等の報道を契機に，本校の子供たちの中からも，医学やウイルス研究に興味・関心を持ち，医学界に貢献できる人物が輩出されることを秘かに期待しています。あわせて，差別や誹謗中傷といった人の心理についての理解も深め，人権感覚をさらに磨いてほしいとも思います。

令和4年9月12日

## ソラヨイの満月に想う

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

9月10日に浮辺地区のソラヨイ（十五夜）に参加させていただきました。7名の子どもたちが，ソラヨイの歌を大きな声で歌い，リズムカルなかけ声にあわせて，全身を使って踊りました。とても堂々とした立派な態度でした。踊りが始まると，満月が上りはじめ，雲間から顔を出しました。十五夜の舞台が整い，多くの見物者がカメラのシャッターを一斉に切っていました。

五穀豊穡，収穫に感謝する十五夜ですが，近年では少子化の影響，また，コロナ禍の影響もあり，相撲や綱引きといった行事は行われていないとのこと。それでも地域の人々が集い，伝統行事を継承していくことは，地域の発展に欠かせないことだと思います。子どもたちが習ったソラヨイの歌や踊りを，今後は次世代へ継承してくれることを強く願います。これまで子どもたちへ御指導してくださった地域の方々に深く感謝申し上げます。

子どもたちの歌と踊り，美しい満月を堪能する一夜となりました。

令和4年9月15日

## 敬老の日を前に

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

9月19日は敬老の日です。私の両親と同世代の方々は、先の悲しい大戦の戦前、戦中、戦後の混沌とした世の中をたくましく生き抜き、高度経済成長に貢献され、平和な日本の礎を築いてこられた方々です。並大抵の苦勞ではなかったはずですが。たくさんの悲しみや苦勞を乗り越えてこられた方々だと想像に難くありません。

他界した昭和8年生まれの父親が、酒に酔えばいつも戦後の混乱期の話をしていました。「その当時はみんな苦しみの中にいた。しかし、苦勞を苦勞とも思わず、懸命に働いた。明日の幸せを信じて。物質的な豊かさはなかったが、今思えばとても楽しかった。夢はいくらでも見ることができたから。」と。

時代は昭和から平成、令和に変わりました。新型コロナウイルスと共存して生きる昨今ですが、誰もが夢や希望を抱ける時代であってほしいものです。亡き父の生き様をもっと知り、もっと語り合い、素直に感謝の気持ちを伝えたかったと後悔しています。

令和4年9月21日

## 秋の全国交通安全運動への誓い

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

9月21日より9月30日まで秋の全国交通安全運動が行われます。本日、その出発式が浮辺小学校校庭で行われ、その後、街頭キャンペーンを浮辺交差点で行いました。

出発式では、6年生3名への一日警察署長委嘱式が行われました。警察制服を着用し、堂々と大きな声で署長決意表明やパトロール出発の号令を行っていました。

街頭キャンペーンでは、全校児童12名が本校の閉校記念式典横断幕が掲げられている交差点前で、信号停止した車両に交通安全を願った手紙と啓発品を警察官や交通安全協会職員の方々と一緒に手渡しました。子どもたちにとりましては交通安全に対する認識や事故防止について、思いや考えを深めるよい機会となりました。また、白バイ見学や記念写真撮影もよき思い出になりました。

全てのドライバーの方々には交通ルールをしっかりと守り、交通事故を起こさないように気をつけて運転してほしいと思います。私も安全運転への誓いを新たにしました。

令和4年9月25日

## 閉校の足跡刻む運動会

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

本日、浮辺小学校閉校記念合同運動会を開催しました。本年度も午前開催となりましたが、閉校記念としての思い出深い運動会となりました。これまで新型コロナウイルス感染症と熱中症対策との間で、悩みの尽きない日々でしたが、来賓、保護者、地域の方々の御協力のもと、無事に終了できました。御参加くださった全ての方々に心より御礼申し上げます。

子どもたちにとりましても制約の多い中での練習期間でしたが、練習の成果を遺憾なく発揮し、心に残る運動会になったと思います。人は一生懸命に取り組み、励む姿に素直に感動するものです。感動とは文字通り心が感じて、動くことです。子供たちのひたむきに走る姿や一輪車の全校発表、そして、応援の大きなかけ声や演舞に思わず涙腺が緩みました。地域の方々の嬉々とした姿にも学校を想う熱を感じました。参加者一人一人の頑張りに感動する運動会となりました。

閉校に向けて、よき足跡を刻む運動会になりました。